

今年は3月中旬まで雪が降る札幌市内でしたが、ようやく春を感じる季節となりました。

札幌で8年暮らし感じた事は、札幌市民にとって大通公園&テレビ塔は憩いの場所であり、楽しむ場所になっているという事。札幌のイベントの中心で、年間9回の大規模なイベントが行われます。春のさっぽろライラックまつり、さっぽろ夏まつり(ビアガーデン)、さっぽろ雪まつり等、市民のみならず全国から多数の観光客が来られます。

改めて大通公園の紹介をします。札幌市内の中心地でさっぽろ駅とすすきの駅の間にある大通駅に直結し、西1丁目～西12丁目に掛けて全長約1.5km。総面積は78,901㎡で東京ドームの1.7倍の広さです。本格的に公園が整備されてから約110年を迎えました。

普段はなかなか行く機会がありませんが、12丁目のバラ園と札幌市資料館が意外と穴場で、リピートされる市民も多いそうです。機会があれば12丁目まで足を延ばされることをお勧めします。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は愛知県西尾市の稲荷山茶園公園を紹介いたします。

愛知県西尾市が抹茶の産地として有名なのは、ご存じの方も多いと思いますが、西尾で生産されるお茶の約96%が抹茶だそうです。西尾で生産されるてん茶(てん茶=抹茶にひく前の原材料のお茶)の生産量は全国生産の約20%を占めています。

稲荷山茶園公園はそんな抹茶の生産が盛んな西尾市西部の矢作川に近い高台にあり、うねが続く茶畑を一望できます。そこから見える稲荷山茶園は面積がおおよそ100haあります(結構な規模ですね…)。

4月上旬は甘い茶葉に育てるために覆いがかけてられています。5月からの茶摘みのシーズンには、摘み手さんたちの作業風景を見ることができます。またその時期には、近隣に茶摘み体験ができる茶畑もあるようです。

新緑のシーズンになってきます。ぜひ皆様も茶畑を見に行かれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)



世界の拠点から
-From the base in the world-



国際オートアフターマーケットEXPO2024(略称IAAE2024)へ出展いたしました。世界のアフターマーケット動向に加え、国内での補修部品や最新の整備钣金に関連する部品、リビルト部品の展示から最新システムまでPRされていました。そこには、国内外の自動車関連業者やパイヤー、異業種からの見学者も多くみられました。

弊社は、主力とするラジエーターASS'YにコンデンサーASS'Y、インタークーラーやリビルトEGRクーラー、その他関連用品を出展し、来訪された多くの方へ製品PRをさせていただきました。国内のみならず海外業者も数多く出展しており、今年は過去最大の出展業者数だった模様です。昨年はEVの話題で持ちきりとなり、緊迫した雰囲気が漂っていたのも事実でした。しかし、現在はEVもやや鈍化し、HVが再注目されたことにより若干緊張が緩和されてきた様子でした。補修業界関係者としては、EVへ備えつつも、今の状態に期待しながら変化に対応するといったところなのかなと感じました。これからも市場や時代に沿った、より良い製品をご提供させていただきたいと思っております。



東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

昨年、神戸空港の紹介をしましたが今回は伊丹空港です。ここは自宅から近い空港です。今は国内線のための空港ですが、集客の為、ショップやレストランなどに気軽に寄れる様になっております。

セキュリティエリア前に入れるお店も多く、神戸空港同様、ただ食事やお買い物するだけでもOK。さらに買い物で駐車場1時間サービスなどもあります。

土産物店の『関西旅日記』ではお菓子も多くあり、他ではあまり見ないめずらしいゴディバ監修のチョコレート生八つ橋や、関空・伊丹空港限定商品の堂島ブランロールなど、季節限定品も含め他では入りにくい商品がたくさんあります。カフェも店舗が多くあり、ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド直営の『ル・パン神戸北野』はホテルのサンドウィッチなどが味わえます。

テイクアウトして展望デッキで飛行機を見ながら食べるのもいいですよ。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

何気なくドライブに出かけた休日のことですが、マリンメッセ福岡の近くに立ち寄ったところで『全国陶磁器フェア』が開催されていると知り、ちょうど“そば猪口”を家族分探していたことを思い出したので行ってきました。

九州ではおなじみの有田焼、波佐見焼のほか、北は北海道から南は沖縄までと…。全国各地の有名な陶磁器の産地から選りすぐりの作品が集まるイベントです。入場直ぐにびっくりしたのが、ブースの数が多いこと多いこと！開催されているフロア内に所狭しとびっしりです。陶磁器のみならず、木工品などの工芸品のブースも多数あり、じっくりと見て回るには最低でも半日はかかりそうです。今回お目当てのそば猪口を探して色々なブースに足を運びましたが、どのブースのそば猪口も捨てがたい上、お値段もまたまた一級品。また料理が趣味の私としてはそば猪口以外の器にも目を奪われ…最終的には何も買わないまま会場を後にしました(汗)。

毎年3月のこの時期にこの『全国陶磁器フェア』が開催されているようなので、来年はあらかじめ情報を仕入れ、購入品をピックアップしてから行ってみようと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシア大統領選挙の結果は、プラボウォ大統領候補とギブラン副大統領候補が当選しました。ギブラン氏は現大統領ジョコ・ウィドド氏の息子です。立候補したときはまだ36歳、当時の候補要件の40歳以上を満たしていませんでした。しかし、政府が選挙直前にその規則を変更、40歳以下でも立候補ができるようになりました。

さらに選挙中、ジョコ大統領のサポート行為が見受けられ、縁故主義ではないかと他の候補者たちは思っていました。そのため、選挙結果に不正行為があったと強く感じた候補者たちは、憲法裁判所に訴えました。裁判は約3週間行われ、色々な証拠や目撃者の話を調査・確認して最終決定を下します。5年前、10年前の大統領選挙でも負けた候補者が裁判所に訴えましたが、裁判で勝つことはありません。今回もおそらく同じ結果だろうと他の候補者は思っています。ただやってみないとわからないため、とりあえず裁判所に異議を申し立て、フェアな決断が下されることに期待しています。

この拠点だよりを書いているとき、裁判はまだ進行中です。しかし、裁判官たちの話を聞いたニュアンスだと訴えは却下される可能性が高いです。裁判所の前に何百人もの支持者が集まり、発表された裁判結果によっては、不満を抱いてデモが起きることも考えられます。その理由としては、5年前の大統領選挙の裁判結果によって起きた状況と同じだからです。但し5年前のデモは夜中まで続きましたが、1日で収まりました。

今回、同じデモが起こらないことを祈っています。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～1日100枚もめずらしくない～

山積み書類に印鑑をペタペタ…これも私の重要な仕事の一つです。日本では個人でも会社でも重要な書類には印鑑が欠かせません。世界を見渡すとほとんどの国はサイン社会で、会社間の契約もサインで行われます。

では中国は?観光地では、石に名前を彫ってもらい印鑑のお土産がポピュラーですが、普通の生活で個人の印鑑を使うことはありません。重要な書類も印鑑ではなく、サインで承認をします。

ところが、会社の場合は日本以上に印鑑による手続きが中心です。もっともよく使う会社の代表印は『公章印』とよばれ、会社が発行するほぼすべての書類に押されます。財務関係、労務関係、契約書、申請書関連などなど、多い日は1日100枚以上押すこともめずらしくありません。複数枚におよぶ厚い書類には『騎縫章(割り印)』をします。中には100頁以上の申告書類の各頁すべてに押す場合もあります。公章印以外にも財務印、契約印、法定代表印などがあり、会社業務に印鑑は欠かせないアイテムです。

中国の電子化、デジタル化は日本よりはるかに進化し、驚きの連続ですが、会社の書類においても印鑑レス化、ペーパーレス化が近い将来進んでいくのでしょうか?

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

地球温暖化の影響なのか、カリフォルニアでは例年になく雨の季節が続いています。皆様がこの便りを読むころには日本では桜の季節も終わり、良い季節を迎えていると思います。

韓国でMLBが開幕しましたが、そのあとの速報が日本でも大きなニュースになったと思います。LADジャースが大谷選手の通訳を務める水原一平氏を解雇しました。内容については日本でも毎日のように報道されていたかと思いますが、スポーツ・ギャンブルに関してアメリカの事情を簡単にご紹介いたします。

アメリカでは各州によって法律が異なり、多くの州ではスポーツ・ベット(賭博)は合法です。カリフォルニア州は数少ない違法な州ですが、通常インターネットを利用して、お隣のラスベガスがあるネバダ州などで行われているので普通にギャンブルを楽しんでいます。賭博と聞くとあまり良い印象を受けないかもしれませんが、日本でも競馬や競輪或いはTOTOの

サッカーくじのように一般的な娯楽の一つとして、スポーツ観戦を楽しんでいます。今回水原一平氏の問題は、違法なブックメーカー(賭け屋)を利用し、多額の賭けを行った事です。これにより当初は警察ではなくIRS(日本でいう国税庁)から捜査を受けています。

未だ詳細は分かりませんが、もし賭博が野球関連だとしたらこれはまた大きな問題になります。ドジャースが迅速な決断をした背景には、過去のブラックソックス事件(ワールドシリーズ八百長事件)があったからだと言われています。また、通算最多安打記録の持ち主であるピーターローズは野球賭博で球界から永久追放されて未だに名誉回復には至っていません。

やはり一番心配なのは新規加入で盛り上がっている大谷選手の心理的影響です。問題が早く解決し、今シーズンも活躍してくれることを願っています。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

新鮮な空気と静かな環境がある自然の中を歩くことは私のお気に入りの1つです。混雑した大都会でこういった機会があるのは幸せなことです。

ある日曜日に『マクリッチ・ネイチャートレイル&貯水池公園』と呼ばれる場所を歩いていました。10分ほど歩き、自然遊歩道にさしかかったところ、なんとそこに駐輪してある自転車を見つけたのです。誰が自然公園に自転車を入ったのでしょうか?私はこの方は間違えてしまったのではないかと思いました。私は今までそこで自転車を見かけたことがなかったので、とても不思議で、なぜあそこに自転車が停まっているのか理由が全く思いつきませんでした。

それはさておき、日曜日の散歩は素晴らしいものでした。みなさんも自然を満喫して体を休めてください。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

オランダでは、運輸だけでなく暖房などにおいても、化石燃料から電気への転換が求められています。環境のためだけでなく、コストの面からも電気機器に切り替える人が増えています。

誰もが予想していたように、電力消費量は急速に増加しており、時間単位、季節単位で需要が大きく変動しています。例えば、冬は日照時間が短いのでソーラーパネルはほとんど役に立ちませんが、外は寒く、暖房による電力消費量が多くなります。夏は暖房の必要がなく、日照時間が長いので、日中は供給量が過剰になります。

15年前、すでにいくつかの機関が、電気に移行するとネットワークが過負荷状態になると警告していました。当時は、将来への投資よりも予算削減と利益が重要視され、誰も反発しませんでした。

もちろん、順応していかなければ問題が発生してしまうことは想像がつかます。実際、いくつかの地域ではネットワークに大きな負荷がかかり、新しい接続ができていません。つまり、新しく建設された住宅地や工業地帯が電力ネットワークに接続することができず、計画を中止するか、事業を始めるために発電機を手配する必要があります。

これに対応するためには、ネットワークをアップグレードしなければいけません。しかしすでに問題が発生している中、準備を怠っていたため、対応に何年もかかってしまうでしょう。一点だけに焦点を当て、全体を俯瞰的に考えていなかったために、変革が遅れそうです。

KIO(オランダ)(Ferri Visser)